

ふれあい情報

2025年12月9日(火) 第404号

■発行 日本退職者連合
■発行人 宇田川 浩一
■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11

日本退職者連合
HP QRコード

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp



第2回幹事会(連合会館3階A・B会議室)

11月19日(水)、「第2回幹事会」を開催して、役員の交代・各種取り組み報告および各ブロック・連合本部からの活動報告について全体で共有するとともに、今後の取り組みについて確認しました。終了後、「2025全国高齢者集会第3回実行委員会」を開催し、総括と来年の「2026全国高齢者集会」の開催日程について確認しました。

日本退職者連合 第2回幹事会を開催

野田会長あいさつ



62年前に狭山

事件が起こりました。石川一雄さ

んは、獄中から無

実を叫び、仮出獄後も、何度も再審開始の要求を行いましたが、今年3月に亡くなりました。

お連れ合いの石川早智子さんがずっと無罪を主張し、亡くなつた後も、第4次再審を取り組んでいます。

私も石川早智子さんの活動をこの間支えてきました。この第4次再審の実施を求めて、無実を晴らしたいと

議事

いう強い思いがありまして、今回、参加を呼びかけさせていただきました。

本日は、石川早智子さんから、取り組みへのお礼と協力のお願いを訴えさせていただきますので、ご協力をお願ひしたいと思います。

続いて、石川早智子さんからこれまでの活動と再審実現への強い思いをこめたお話を伺いました。*別掲

○副事務局長 新任 高橋 洋子さん
○幹事 旧幹事 川端 邦彦さん
新幹事 中西 満さん
《情報労連労組退職者の会》
旧幹事 高橋 洋子さん
新幹事 川崎 真弓さん
新幹事 相馬 真琴さん
《全印刷退職者の会》
旧幹事 荒川 洋さん
新幹事 斎藤 芳広さん
《関東ブロック》
旧幹事 遠藤 幸男さん
新幹事 高木 時夫さん
《北陸ブロック》
旧幹事 山田 太郎さん
新幹事 斎藤 重範さん
○役員推せん委員会報告
○事務局任務分担
○各種専門委員会報告
○2025年度政策・制度要求「要求と回答」
○2025全国高齢者集会と2026全国高齢者集会について
○関係団体・組織の諸会議・行動について
○ふれあい情報の発行
○産別・関連団体、地方ブロ

初めに、役員推せん委員会からの役員交代についての報告を受けて、宇田川事務局長より、承認事項・活動報告ならびに各ブロックからの報告を受け、意見交換を行いました。

続いて、協議事項を提起し、質疑・応答を踏まえて全体で確認し、第2回幹事会を終しました。

◇承認事項 役員交代

○副会長

退任 則松 佳子さん
新任 富田 珠代さん

○役員推せん委員会報告
○事務局任務分担
○各種専門委員会報告
○2025年度政策・制度要求「要求と回答」
○2025全国高齢者集会と2026全国高齢者集会について
○関係団体・組織の諸会議・行動について
○ふれあい情報の発行
○産別・関連団体、地方ブロ

ツクの総会、学習会派遣
○ブロック・連合の報告

◇協議事項

- ロシアとイスラエルによる侵攻の即時停止を求める要請について
- 2025年全国事務局長会議について
- 2025年政策・制度要求実現院内集会について
- ジエンダー平等委員会第14回学習会について
- 狹山事件第4次再審請求を求める署名の取り組みについて
- 「2025年度組織実態調査」の実施について

ブロックからの報告

北海道ブロック

10月3日にジエンダー平等集会を開催し約100名が参加。

福島県では会津地域退連結成で、県内全て6地域退連体制確立。

関東ブロック

10月9日に定期総会を開催。衆院選12選挙区での推薦候補予定者へ推薦状を手交。高校生平和大使からの報告等。

東北ブロック

各県の特徴的な取組や定期総会開催の報告。青森県連で初の女性副会長を選出。

東海ブロック

東海5県での政策制度要求の共通課題①医療提供体制及び在宅医療基盤の整備と充実。②介護労働者の職務

ブロック担当を務める東京高退連では会長が交代。退任にあたりブロック内県退連総会で挨拶。

各県都の活動を報告。関東

改善及び認知症基本法の着実な推進③高齢者が安心して暮らせる居住の場、地域社会の創造、の同一要請を作成、各県で協議後提出予定。

北陸ブロック

12月7日に北陸ブロック総会を開催、ブロック幹事を福井県に変更した。ブロック総会では、組織拡大や財政の厳さなどについて意見交換した。

近畿ブロック

10月28日にブロック総会を開催。総会前段で「高齢者の免許更新と自転車の交通ルール」の講演を行った。10月16日ブロックハイキングを大阪城で開催。

改善及び認知症基本法の着実な推進③高齢者が安心して暮らせる居住の場、地域社会の創造、の同一要請を作成、各退連の活動等を報告。

九州ブロック

10月28日に、会長・事務局長参加の拡大幹事会を開催。

25年度の政策制度要求の取り組み報告や組織拡大の問題を意見交換。沖縄から有機フッ素化合物問題を特別報告。

四国ブロック

9月29日に四国ブロックの定期総会を高知で開催。

連合本部

①2026春季生活闘争方針は、5%以上とその実現にこだわる。

②労働時間法制、労働時間の規制緩和について、過労死が増え続けている状況中、命と健康より大切なものはないという認識でこの改悪に反対の取組を強化する。



石川早智子さん

石川早智子さんからのお礼と活動状況報告

石川一雄は、狹山事件の犯人とされ、60年以上無実を訴え続け、手錠がかかつたまま無念のうちに旅立ちました。

私は、夫の意思を引継ぎ何としても無罪判決を勝ち取りたいと第4次再審を申し立てています。

第4次再審実施に向けて、署名運動を4月から取り組み始めて短期間で21万を超える署名をいただき、10月10日東京高裁に提出しました。これまでの皆さん方のご支援へのお礼を申し上げつても、この第4次再審への皆様方のさらなるご支援、協力をお願いし、貴重な時間をいたしましたことに心から感謝申し上げます。

ジエンダー平等学習会や社会貢献活動を各県が取り組んでいる。政策要求は今後要請行動に取り組む。

新役員紹介

第2回幹事会で新役員に承認された役員の皆様を紹介します。



立憲民主会派のヒアリングで要求趣旨の説明(衆議院第2会館地下会議室)

2026年度税制改正・政策・予算関係について 立憲厚生労働部門会議ヒアリングで 意見反映を行う

日本退職者連合は、第29回期総会で決定した「2025年度政策・制度要求」の実現に向けて、立憲民主会派厚生労働部門のヒアリングで趣旨説明を実施。



岩崎副事務局長
記参考（下）

日本退職者連合は、11月4日(火)17時45分から開催された、立憲民主会派厚生労働部門会議のヒアリングに対応し、「2026年度税制改正・政策・予算要望」について説明と意見交換を行いました。

冒頭、早稲田ゆき厚生労働委員会理事(衆議院議員)より開会挨拶があり、続いて野田会長より「高市政権になり、防衛費の対GDP比増額・安全保障政策の関係もあるが、今日は予算・国会対応関係について説明させていただくのでよろしくお願いします」と挨拶後、岩崎副事務局長より要請項目(下記参照)の

最後に、野田会長より、「対GDP、防衛費の問題は負担増になつてくるので対応をよろしくお願いします」と防衛費増額への危惧を訴え、終了しました。

- | 政策・予算要望 | | ヒアリングで要請した内容 |
|--|--------------------------|--------------|
| 1. 予算編成の健全化 | ① 適正な予算編成 | 1. 個人所得税 |
| 2. 税制改正要望①個人所得の所得再分配機能の強化。 | ② 防衛予算の適正化 | 2. 法人税 |
| 3. 政策・予算要望①教育予算の拡充、②年金生活者支援給付金の拡充、③医薬品の安定的な供給体制の早急確立等について、ポイントを絞り説明を行いました。 | ③ 年金保険制度 | 3. 消費税 |
| 4. 地域包括ケアネットワークの確立 | ④ 医療制度 | 4. 國際運賃税 |
| 5. 在宅医療基盤の整備・拡充 | ⑤ 提供体制の整備 | 5. 地方税 |
| 6. 介護労働者の待遇改善 | ⑥ 在宅医療基盤の整備・拡充 | |
| 7. 貧困・低所得者対策 | ⑦ 高齢医療制度における自己負担の在り方の再検討 | |
| 8. 介護労働者の待遇改善 | ⑧ 地域公共交通を軸とする移動確保の充実 | |
| 9. 物価高騰対策 | ⑨ 社会保障としての住宅 | |
| 10. 低所得高齢単身女性問題 | ⑩ 食の安心・安全・安定 | |
| 11. デジタル化政策 | | |

外務省に侵攻の即時中止を要請

～3項目にわたる要請書を手交～

日本退職者連合は、12月1日(月)14時より外務省に対し、ロシアによるウクライナ侵攻およびイスラエルによるガザ侵攻の即時中止に向けた行動を求めて、要請行動を行いました。



野田会長より三宅大臣官房審議官に要請書手交(中央)。石川欧州局審議官(右から4番目)。

太衆院議員(左から4番目) 松田衆院議員(右から3番目) 鈴木衆院議員(右から2番目)。他事務局

要請行動には、立憲民主党の太栄志衆院議員、松田イサオ衆院議員、鈴木ようすけ衆院議員も帶同し助言をしていただきました。

冒頭、野田会長より「当該紛争について、一日でも早く収束してもらいたい」という退職者連合会員70万人の思いを要請させていただく」と挨拶し、要請書を手交しました。

外務省からは、三宅大臣官房審議官、石川欧州局審議官が対応していただき、「要請内容について、重く受け止め省内でも共有していく。要請内容については、日本政府の立場

として紛争収束に向けて対応している。今後も引き続き国際人道保護、国際法の遵守など働きかけをしていきた」との回答がありました。

その後、意見交換を行い、野田会長より「日本政府の動きが市民には見えにくい。これからも対応をよろしくお願いしたい」と再度発言をして、要請行動を終了しました。

要請行動の調整および帶同をしていた立憲民主党の議員・事務局の皆様ありがとうございました。



外務省の審議官と意見を交わす野田会長



上のQRコードは、「核兵器廃絶1000万署名」連合特設サイトに移行するQRコードです。

- 要請内容
- 日本政府として、ロシア政府およびイスラエル政府に対し、侵攻の中止を強く申し入れること。
 - 日本政府として、国連の場において和平会議の開催を主導すること。
 - 日本政府として、直ちにパレスチナを国家承認すること。